



▲ コルドバ

産業・通商・観光省 出版元: © Turespaña 作成: Lionbridge NIPO: 086-18-012-3

無料配布

パンフレット内容については万全を期して作成いたしましたが、お気づきの点がございましたら、改善のために brochures@tourspain.es までメールでお知らせください。

表紙:花の小道 裏表紙:ハンマン。写真: コルドバ観光局 (IMTUR)

目次

はじめに	3
コルドバ で楽しむ街歩き	4
文化	11
コルドバを味わう	12
コルドバの四季	14
子連れで楽しむコルドバ	17
街の隠れた名所	18
コルドバの夜は更けて	22
コルドバ周辺おすすめスポット	23
サン・セバスティアンへのアクセス	25
コルドバ市内での移動	26

はじめに

世界遺産にも登録されている千年の歴史を持つ古都は、過去と現代が融合し、多くの文化が定着する中で、今も生き生きとした魅力にあふれています。

魅力あふれる街を歩けば、異国情緒たっぷりの色彩と香り、歴史が醸し出す神秘的な雰囲気に浸れます。

見ごたえのある荘厳な文化遺産や記念碑もたくさん。圧巻のメスキータ大聖堂を訪れたら、グアダルキビル川に架かるローマ橋を渡り、細い路地と美しい中庭が印象的なユダヤ人地区界隈を散策してみませんか?

伝統的な**グルメ**も試してみましょう。 地中海料理に欠かせないオリーブ油 は、ローマ人がイスパニアの地に到達 して以来の長い歴史を誇ります。コル ドバ産イベリコ生ハムやサルモレホな どの美味しい郷土料理も、この地を代 表する味覚です。

コルドバは1年を通じてさまざまなイベントが開催され、芸術、文化、レジャーの中心地となっています。フラメンコ祭り、コンサート、ダンスなどのほか、数々の博物館で多くのアクティビティが楽しめ、ナイトライフも充実します。

太陽、歓喜、祝祭の精神にあふれるアンダルシア。5月になり、通りにジャスミンの香りがあふれ出すと、いよいよ待ちに待った**コルドバのパティオ祭り**の始まりです。この祭りは、ユネス



▲ コルドバのメスキータ

コの世界無形文化遺産にも登録されています。祭りの期間中、街中の白壁に美しい装飾が施され、人々を魅了します。

旅人を温かく迎え入れる**おもてなし文化**も、この土地ならではのものです。 まるで故郷に帰ったかのような居心地 の良さを感じるはず。街の魅力を満喫 し、五感が呼び覚まされる体験を楽し んでください。



▲ ローマ橋

ユダヤ人街

狭い通りに白壁の家が建ち並ぶ、魅力 的なエリアです。中世の面影が色濃く 残り、街全体にキリスト教、イスラム 教、ユダヤ教の文化が見られます。

アンダルシアの中でも独特な街並みを、カラオラの塔から眺めてみましょう。最高の展望を堪能したら、素晴らしい見どころがいっぱいの街を歩いて回ってみませんか?ローマ橋を通ってグアダルキビル川を渡ると、プエンテ門から市内に入ることができます。

そこからすぐ近くに、この街の要と言える、世界遺産のメスキータがあります。**免罪の門**から訪れてみましょう。 美しいオレンジの中庭を通り抜け、中 に入ると2色の馬蹄型アーチと柱がど こまでも続く森のような空間が広がり ます。



↑ オレンジの中庭 コルドバのメスキータ



▲ ミフラーブ コルドバのメスキータ

かつてミナレットとして使われていた 塔にも入ることができ、その鐘楼に上 ると、美しいパノラマとともに、メス キータの本館を面白い角度から楽し めます。施設最古のサン・エステバシ 門(ミフラーブ)も見逃せません。メ スキータの中でもあまり人目に触れな い神聖な場所にあり、ビザンチン様式 のモザイクとドームが特徴的です。 シック様式、ルネサンス様式、バッ ク様式が混在するカトリック大聖堂 は、メスキータの中心にあります。

同じ地区ではシナゴーグも見学できます。スペインの中でも最高の保存状態と言われています。19世紀最初の四半世紀に建設され、最近まで別の用途に使用されてきました。多く残されているヘブライ語の碑文は、保全のための工事も行われ、ほかでは見られない圧倒的なクオリティーを誇ります。



▲ コルドバのメスキータ

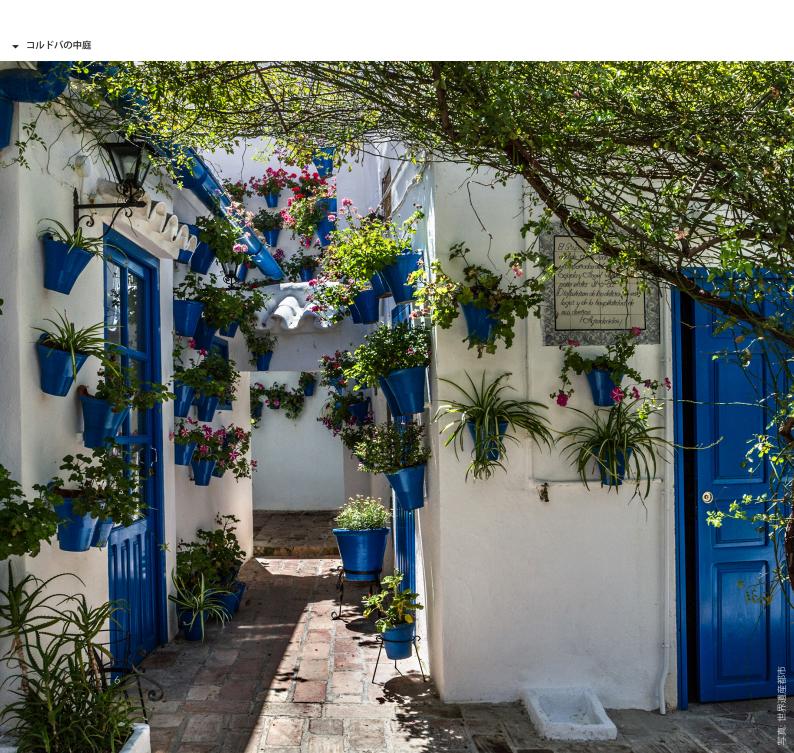
そのすぐ近くで開かれているソコ・ムニシパルの市場も訪れてみましょう。ムデハル様式の2階建ての建物も魅力的です。コルドバの職人たちによる銀や皮革、陶器などの伝統工芸品が展示販売されています。素敵な土産物を探すにもぴったりです。

ラ・フデリアにあるポサダ・デル・ポルト=フォスフェリート・フラメンコ・センターは、フラメンコ文化に親しめる施設です。アンダルシアが誇る歌と踊りの魅力を紹介しています。楽器やアーティスト、衣装などの展示を通して、フラメンコの誕生と変遷について学べるようになっています。

旧ユダヤ人地区では、ゴシック様式とムデハル様式が混在するカサ・デ・インディアノのファサードを始め、特徴的なコルドバ式ファサードが多数見られます。メスキータがよく見えるフローレス通りの路地は、絶好の撮影スポット。写真映えする色鮮やかな風景が広がります。

① 詳細:

www.mezquita-catedraldecordoba.es





▲ キリスト教徒の王たちのアルカサル

サン・バシリオ(アルカサル・ビエホ地区)

グアダルキビル川沿いのサン・バシリオには、コルドバの名所のひとつ、キリスト教徒の王たちのアルカサルがあります。14世紀に建てられた旧要をで、アメリカ大陸発見の謁見が行った場所としても知られていますらいた影響を受けた素晴らしいた影響を受けた素晴らしいたがある。レセプションルームであるとができます。であり、大いできます。というできます。

このすぐそばには16世紀末にフェリペ2世の命により建設された**王立厩舎**があります。アラブ系のサラブレッドとして知られる種を繁殖し、スペインやアンダルシアの名馬に育てました。

また、アルカサルの近くに見られるユダヤ人地区の城壁は、13世紀初頭にセファルディムの施設として機能した古い軍事的建築です。ここでは、サン・バシリオに通じるセビージャ門や、ユダヤ人地区を取り囲む壁の一部として今も残っているベレンの塔を訪れてみましょう。

① 詳細:

www.turismodecordoba.org/ alcazardecordoba.cfm

サンタ・マリーナ

いろんな街に出かけてみましょう。狭い路地にはコルドバの貴族の豪邸や古民家が建ち並びます。

闘牛士地区とも呼ばれ、古くからの伝統を継承する街です。1940年代に活躍したスペイン屈指の名闘牛士、マノレテに敬意を表して建てられた像のある通りを訪れてみましょう。像の正面には、街でも最古の教会のひとつ、13世紀創建のサンタ・マリーナ教会が鎮座します。教会のファサードを支える控え壁が突き出す様子は、まるで要塞のようです。

マニエリスム様式の大邸宅、**ビアナ宮 殿**も、見逃せないモニュメントのひとつです。庭園はもちろん、さまざまなスタイルを持つ12の中庭が素晴らしく、特に花が咲き乱れる春は息を呑むほどの美しさです。ぜひ宮殿の中にも入ってみましょう。各広間はアート、モザイク、格天井、ゴヤなどさまざまなテーマが設定されています。

また、内装の素晴らしさが際立つサン・アグスティン教会は、バロック様式におけるコルドバの至宝と言われています。最近の修復作業により、美しい壁画やフレスコ画も、当時の豊かました。クエスタ・デ・る場が蘇りました。クエスタ・デ・る場所にあるサン・カジェタノ教会の礼ますのヴォールトと細かい装飾に、圧倒されることでしょう。



▶ サンタ・マリア教会

魅力あふれる「詩人の庭」の付近では、12世紀のムラービト朝から残るマルビアルの壁に沿って歩いてみましょう。アヘルキアを取り囲む城壁によって仕切られたこのエリアは現在、歴史地区となっており、アラブに支配されていた時代には職人や商人が住んでいたと伝わります。

① 詳細:

www.palaciodeviana.com

サン・アンドレス - サン・ パブロ

平屋や商店、タベルナが並ぶ狭い通りを歩けば、コルドバらしい味わい深さが感じられます。イスラム時代にはシルク刺繍職人の居住区となりましたが、アンダルシアの街並みもそのまま残されています。この地区の中心となるサン・パブロ通りとレアレホ通りに、教会や高級住宅の多くが集中しています。

13世紀(1236年)にフェルディナンド3世の命により建設された中世の教会、フェルナンディナ教会とその管轄であるサン・アンドレス教区は、表例であるサン・パブロの教会は、表例です。一方、サン・パブロの教会は、表例です。見事な職人技によるためです。見事な職人技によるムデルをものです。見事な職人技によるが、カの世界」は必見です。

その他の宗教的建物としては、ムデハル様式のサンタ・マルタ修道院があります。居心地の良い中庭からは、ゴシック様式のファサードを見ることができます。

宮殿や大邸宅もまた、この地区の大きな魅力です。カサ・デ・ロス・ビジャロネスやロス・ルナ宮殿などの建物は、ファサードにそれぞれの盾形紋章が飾られ、眺めていると時間の流れが止まったかのような気分を味わえます。

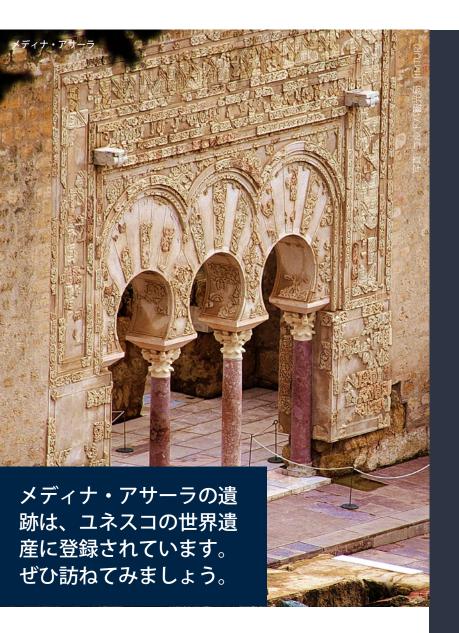
すぐ近くのサンペドロ地区にある、18世紀に建設された大きな**コレデラ広場**も、ぜひ訪れたい人気のスポットです。アンダルシア特有の四角いレイアウトが印象的な広場では、テラス席に座ってタパスをつまんだり、伝統的な市場を見て回ったりと、楽しい時間を過ごせます。



サン・ロレンソ

街のレコンキスタが完了し、古いモスクが教会に置き換わったところで大衆向けに建設されたのが、街と同名の伝統ある教会、サン・ロレンソ教会です。ファサードのゴシック・ムデハル様式の見事なバラ窓が特徴で、コルドバで最も美しい教会のひとつとされています。この地区では、バロック様式の恵みの聖母教会もぜひ立ち寄ってみてください。17世紀に設立された三

位一体修道院の一部で、内部には「救済された私たちの父イエズス・ナザレヌ」や「慈悲深いキリスト」など、コルドバの人々の敬意を集めている宗教彫刻が数多く見られます。観光の締めくりとして、サレジオ会の学校へ行ってみるのも良いでしょう。ここは聖母を祀るアンダルシア初の教会で、扶助者聖マリアが見られます。毎年5月24日には聖体行列が行われます。



メディナ・アサーラ

市内中心からほど近い場所にあるメディナ・アサーラ **考古学遺跡**へ行ってみましょう。10世紀にアブデラマン3世によって建設された、アル・アンダルスでも指折りの美しさを誇る宮廷都市の痕跡が見られます。自分のペースに見て回るも良し、ガイド付きツアーに参加するも良し、過去の栄華に思いを馳せてみましょう。宮廷の広間に入ると、コルドバの街をカリフが支配した時代にさかのぼったかのような感覚を覚えます。

遺跡巡りは**ビジターセンター**からスタートしましょう。地下深くに降りていくと、昔のメディナの最も重要な時代に関する興味深い品々が見られます。その圧巻のコレクションには魅了されることでしょう。

車もしくはバスでアクセスできます。 バスの場合、アルカサル通り停留所で 降りてください。ウェブサイト、電 話、観光案内所のいずれかで入場券を 予め購入する必要があります。

① 入場券など、お問い合わせは 観光案内所まで。または以下をご 覧ください。

www.museosdeandalucia.es/web/conjuntoarqueologicomadinatalzahra



▲ コルドバ美術館

ポトロ広場の旧慈善病院にある**コルド バ美術館**には、スペイン人画家の興味 深いコレクションが収蔵されています。その中でも、バルデス・レアル、 スルバラン、リベラ、ムリージョ、あるいはマテオ・イヌリーアやフアン・ デ・ラ・メサなどのコルドバ出身の 彫刻家などが有名です。

コルドバ美術館と中庭を挟んだ向かいには、**フリオ・ロメロ・デ・トーレス 美術館**があります。コルドバ出身のフリオ・ロメロは象徴主義の画家として 知られ、神秘性を感じさせる作風で人気を博しています。ここでは、「ラ・チキータ・ピコネラ」や「オレンジとレモン」のような代表作も鑑賞できます。

ヘロニモ・パエス広場には、16世紀のルネッサンス様式の宮殿を活用したコルドバ考古学民族博物館があります。3つの中庭と8つの広間、先史時代からアル・アンダルスに至るまでの貴重な作品を見ることができます。



▲ メルセ宮殿

そのほかの興味深いアートスポットとしては、かつての修道院、**メルセ宮殿**も外せません。時折、特別展も開催されています。回廊など見どころも多く、コルドバを代表するバロック様式の建物のひとつとされています。

ユダヤ人地区のど真ん中にあるカサ・アンダルシも、魅力あふれるとても美しい場所です。アンダルシアらしさの中にもオリエンタルな雰囲気が交ざる建物には音楽が響き渡り、色とりどりの花の香りに包まれています。また、紙の博物館は、興味深いアル・アンダルスの通貨コレクションのほか、カリフ統治時代のコルドバにおける製紙工程も見学できます。

現代美術に関心があるなら、最近改修が済んだ18世紀の中庭付き民家を活用したペペ・エスパリウ芸術センターにも行ってみましょう。20世紀のスペイン芸術のキーパーソンとされる、画家で彫刻家のペペ・エスパリウの作品、約40点を常設展示しています。

① 詳細:

www.museoiulioromero.cordoba.es



コルドバを **味わう**

タベルナとタパスを知らずして、コルドバの食文化は語れません。美味しい小皿料理をつまみに、モンティーリャ・モリレスのワインを味わいましょう。

これらは街中で楽しめ、特にサン・ロレンソ、サン・アンドレス、サンタ・マリーナに人気の店が集まります。 その大部分は、1世紀以上続く老舗です。コルドバの魂とも言える、芸術的な食文化を堪能しましょう。

コルドバ**の伝統料理**の中でもよく知られているサルモレホは、トマト、ニンニク、パンくずで作る冷製クリームスープで、夏を代表する味覚です。コルドバのレストランでの定番料理はほかに、フラメンキン(イベリコ生ハムと豚ロースのロールカツ)、牛テール、魚のマリネ、アホブランコ(パン、アーモンドプードル、ニンニク、水、酢、塩、オリーブ油で作る冷製スープ)などがあります。

創作料理を提供するレストランも増えており、アンダルシア地方でもほかにはない、ユニークな食の体験が楽しめます。有名シェフ、パコ・モラレスはアンダルシア料理を再解釈し、伝統のレシピに新しい料理技術を採用。新感覚の味をぜひお試しください。

ご当地グルメを満喫するなら、市内にいくつかある市場も覗いてみましょう。グルメな食べ歩きにぴったりなのは**ビクトリア市場**です。ここでは生の

食材からすぐに食べられる加工品まで 豊富にそろいます。ビクトリア式の庭 園内という絶好のロケーションも魅 力。お気に入りの場所を見つけて、食 事やタパスを楽しみましょう。

コルドバのケーキ、カベヨ・デ・アン ヘルと呼ばれるパイ、プエンテ・ヘニ ル名産のマルメロのジャムなど、この 地域ならではのスイーツもたくさんあ ります。



コルドバの 四季



夏

夏には**コルドバ山脈**を訪れ、素晴らしい自然を堪能し、リフレッシュしましょう。最も近いエリアは**サンタ・マリア・デ・トラシェラ**で、車で約15分の距離です。

西に1時間ドライブすると、ブレーニャ湖とシエラ・デ・オルナチュエロス自然公園があり、豊かな緑や滝などの眺めが楽しめます。猛禽類の群れを目撃することも少なくありません。

夏の夜を満喫するなら、コルドバ植物園で開催される国際セファルディム音楽祭の野外ライブがいちばん。セファルディムの遺産をコンサートを通じて味わう、ユニークなイベントです。6月末のフラメンコの白夜と、7月前半のギターフェスティバルもまた、見逃せないイベント。日程が合えば、ぜひ訪れてみてください。

秋

コルドバと言えば、馬も外せません。9月、10月、11月の3カ月はオトーニョ・デル・カバーリョと呼ばれ、この美しい動物にまつわるアクティビティ、タイトル戦、イベント、ショーの大半が集中する時期です。

この時期にはもうひとつ、セファルディムの秋という大きなイベントがあります。2週間以上にわたりワークショップやコンサート、アクティビティが数多く開催され、スペイン国内のユダヤ人の歴史、文化遺産について知ることができます。

冬

コルドバのクリスマスの催し物には、「**クリスマスに合唱団が歌う**」など、数々のサプライズがあります。パレードではさまざまな合唱団が中心街の通りを練り歩き、祭りならではの雰囲気や賑わいが伝わってきます。

パティオのクリスマスも冬の風物詩で、この時期になるとポインセチアがパティオに飾られます。個人宅、公共施設を問わず、誰でも自由に出入りできるよう、多くのパティオが開放されます。訪れる人にはポルボロンとアニスが振る舞われます。

春

春の訪れとともに、オレンジやジャスミンの花の香りが街中を漂います。コルドバの祝祭が立て続けに行われ、1年でも最も華やかな時期となります。聖週間、春祭り、パティオ祭りの季節の到来です。

聖週間はキリストの受難を偲ぶ祭りで、敬虔な信者が大勢集まります。



▲ 5月の十字架祭り

静寂に包まれる中、コルドバの歴史 地区を粛々と巡る行列は特に感動的 です。



▲ パティオ祭り

5月の前半には**パティオ祭り**で盛り上がります。2週間にわたる期間中、コルドバ旧市街の住民は自慢の中庭をゼラニウムやカーネーション、ジャスミンなど多くの鉢植えで飾り、一般に開放します。ほぼ一日中見学が可能で、時にはフラメンコ、コルドバならではの美味しいタパスやモンティージャ・モリレスのワインなどのおもてなしを受けるかもしれません。

通常、5月下旬に開催されるコルドバ春祭りでは、色彩にあふれ、歓喜のムード一色となる街の様子を目にすることができます。アレナル地区に騎馬隊、ジプシー、フラメンコダンサーが集まる一方で、通りのあちこちに露店が並び、コルドバの地元住民も外国人も一緒になって飲み、歌い、踊る、祭りらしい光景が繰り広げられます。

① 詳細: patios.cordoba.es

子連れで楽しむコルドバ

家族連れにとっても魅力あ ふれる街です。

王立厩舎で見られるアンダルシアの馬の踊りは、小さな子供でも楽しむことができます。

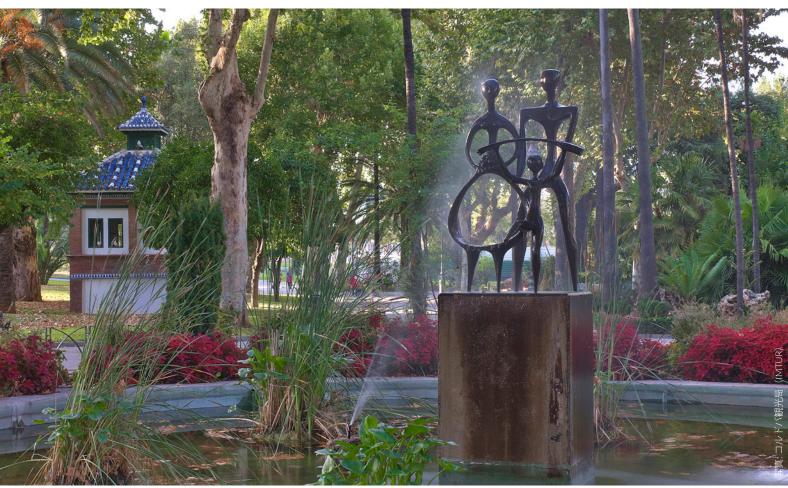
さらに魅力的なのは、クルス・コンデ 公園にある**子供の街**かもしれません。 ブランコやジップラインなど多数の遊 具やピクニックエリアを備え、売店で は軽食も購入できます。入口はメネンデス・ピダル通りにあります。ここに向かう途中、あらゆるスポーツが各所で行われ、木々の間や庭園を通り抜けながら気持ち良く散歩を楽しめます。 夏は森で星空観察をするのも良いでしょう。人工的に植えられた木々の下を通ると霧状の水がかかります。

リンネオ通りからは**コルドバ動物園**の入口が見えます。スケジュールが許せば、このエキゾチックで居心地の良い空間で数時間を費やす価値は十分にあるでしょう。



街の隠れた名所

滞在日数に余裕があり、ほかの場所にも行って視野を広げたい場合は、次のようなオプションもあります。まだ見ぬ街の魅力を発見すべく、さらに時間をかけて探索を楽しんでみませんか?



▲ 典架成園

公園と庭園

数々の美しいモニュメント以外にも、 街では多くの緑地でリラックスしたり 自然を堪能したりすることができま す。かつてフアン=カルロス1世の庭 園であったクルス・コンデ公園や、ビ クトリア通りの広い緑道がよく知られ ています。 川辺には、美しさが際立つ**アルボラフィアの雑木林**があり、小島や水鳥が集まる保護地区となっています。古い水車が、ウマイヤ朝の支配下にあった中世都市の面影を今に伝えます。

グアダルキビル川のほとり、サン・ラファエル橋の近くには**コルドバ王立植**

物園があります。教育、科学の推進を 目的に設計された植物園は、まさに多 種多様な内容で、樹木園や自然林から、バラ園、庭園、温室、コルドバ式 の中庭まで見られます。また、素晴ら しい石の森も見学でき、ここには大規 模な植物の化石が集められています。

隠れ家的博物館・美術館

コルドバの歴史や興味深い街の伝統について知ることができるスポットもたくさんあります。

注目すべき美術館のひとつ、審問ギャラリーでは、13世紀から19世紀にかけて欧州の審問裁判所で採用されていた手続きの流れを描いた個人コレクションが見られます。書類やイラスト、拷問機の展示を通じて、被告人の逮捕、白状させるためのさまざまな方法、判決の宣告、刑の執行など、当時の司法プロセスがよくわかります。

錬金術博物館も訪れてみましょう。かって祖先たちが心酔した当時の最先端化学の世界に特化した、スペイン初の施設です。ロタ(十二宮が描かれている車輪)などの古い装置のレプリカや展示品、ビデオは、ユダヤ人地区の美しい建物で行われていた錬金術を理解するのに役立ちます。錬金術の研究室、蒸留器、小さな展望室もぜひ見学してみてください。

同じユダヤ人地区に、コルドバにおけるユダヤ人の過去の記録を残すカサ・デ・セファルディム - カサ・デ・ラ・メモリアがあります。8つの展示室では、セファルディムの伝統とその後のディアスポラの発展で特に重要と見なされる側面を取り上げた常設展を開催しています。



▲ マイモニデスの像と広場

カラオーラの塔の内部にも同系統の**アル・アンダルス・ライブ博物館**があり、アンダルシア文化に触れながら、キリスト教、ユダヤ教、イスラム教によるプラスの影響を明らかにしています。

最後に、メスキータの隣りに位置する ラモン・ガルシア・ロメロ記念館も紹介しましょう。ラモン・ガルシア・ロ メロは、ウマイヤ朝時代に広まり、その品質と色彩豊かな装飾で知られる 革製品をこの地で普及させた先駆者 です。

① 詳細:

www.casadesefarad.es

モニュメント

コルドバの見事な美しさの中に、深い 秘密も隠されています。たとえば、 市庁舎に隣接するローマ時代の寺院 です。

再建された現在の建物は、ローマ時代のコルドバの壮大さを示しています。当時のまま残る寺院の一部が、考古学博物館、**ドブラス広場**などで展示されています。ドブラス広場では、入口の柱の1本を見学することができます。

見逃せないモニュメントのひとつが**プエンテ門**です。ローマ橋の端に位置し、かつてはアウグスタ街道とコルドバの街を結ぶ入口でした。堂々たる門をくぐるだけでなく、中に入ることもできます。何世紀もの歴史を解説する常設展示が各部屋で見られます。

▼ プエンテ門





▲ ローマ橋

コルドバの**連なる屋根の 眺め**

街には大きな起伏がないため、街のモニュメント自体が歴史地区を眺める絶好の場所という場合もあります。

ローマ橋とグアダルキビル川を眼下 に、川の向こう岸に広がる街の絶景を 望む**カラオーラの塔の展望台**からは、 コルドバの連なる屋根の美しさを堪能 できます。

コルドバの地平線を眺められる場所と言えば、**キリスト教徒の王たちのアルカサルの壁**です。歴史的な建造物に沿って歩くと、庭園の壮大さを目の当たりにすることができます。メスキータの塔からは、中心街の美しい眺望が見られます。

絶景のパノラマが広がるのは、街から 15キロ離れたところにあるエルミー 夕です。中世から残る宗教的な瞑想の 場で、敷地の中には、「聖心のキリスト像」が立つ見晴らしの良い展望台が あります。コルドバの全景と、ベガ・ デル・グアダルキビル郡の一部を見渡 す、素晴らしい眺めが楽しめます。

▼ ラ・カラオーラの塔





▲ 花の小道

コルドバのナイトライフは4つのエリアに集中しています。コルドバの人々は気の置けない仲間たちとここで落ち合って、タパスやドリンク、さまざまな音楽を夜通し楽しみます。最も歴史が古く、地元の人が多く集まる中心街では、特にアルファロス通りとコレデラ広場の周辺が人気です。

最先端のバーやクラブは、街の大通りであるビアル・デル・ノルテにあります。学生街のシウダ・ハルディンでは、コルドバの夜を満喫したい人たちが路上に集まります。ポリゴノ・デ・チナレスという大きなナイトクラブは、夜行性のパーティーピープルでいっぱいです。

コルドバ周辺おすすめスポット

車で約30分のところにある魅力的な小さい村、アルモドヴァ・デル・リオにも訪れてみましょう。イスラム教徒によって760年に建てられた威厳ある城が、丘の上から村を見下ろします。スペイン国内でも保存状態の良い重要な城塞のひとつでも保存状態の良い重要な城塞のひとつでは1年を通して数多くのアクティビティが実施されています。

「セファルディムの真珠」として知られるルセナにも行ってみましょう。グラナダ王国の最後の君主、ボアブディル・エル・チコはカトリック両王の前に降伏する前、カスティーリョ・りまりをで囚われの身となりでした。この城塞は現在、考古学民族博物館になっています。さらに、オマテオ教区や、サンタ・アナ公爵の美しいでしょう。

▼ アルモドバル・デル・リオの古城





▲ プリエゴ・デ・コルドバ

同郡で最古の村のひとつ、魅力あふれるカブラにもぜひ立ち寄ってみてはいかがでしょうか。山々や泉、美しい自然が手つかずのまま残り、二重の壁とカブラ公爵の美しい城郭の中にアンダルシアの歴史が刻まれています。さらに、アンダルシアでも最も興味深いバロック様式の遺産のひとつとして、「聖母の大聖堂や天使の教区」などの至宝も残されています。

コルドバの美しい地区、プ リエゴ・デ・コルドバで は、数多くの教会がイスラ ム教由来の歴史地区に散在 します。 しかし間違いなく、この様式の最も象徴的なモニュメントは**王の泉・健康の泉**です。3つの池と1つの噴水が一体となっているこの彫刻を見ていると、辺りが静かで平和な空気に満ち、やすらぎの境地に達する心地がします。

最後に注目すべきはフェンテ・オベフーナという、オーク林の中にあるです。著名な劇作家、ロペ・デーを動作家、ロペ・デーを動きです。大型を表していた、15世紀の民衆事の題材となった、15世紀の民衆事を出たな場所です。歴史的な出来に毎年の大力をもなったではなっては、カサとはで行われています。たいドーナと呼ばれるモダニズの中にはあります。このを要博物館も入っています。

サン・セバスティ アンへのアクセス

AVE

速さと魅力を兼ね備えた高速鉄道AVEが、コルドバとマドリード、マラガ、バルセロナ、バレンシア、セビージャを結んでいます。さらに、コルドバとウエルバ、カディス間で高速列車が毎日運行します。

レンフェ・スペイン・パスは、スペイン在住でない場合に限り、国内のAVE、長距離、中距離列車のすべてに乗車できるパスです。有効期限は初回乗車日から1カ月間で、乗車可能回数が4回、6回、8回、10回のパスがあります。

① 詳細は www.renfe.com でご覧ください



A A)/E

空港

飛行機を利用する場合、最寄りの空港はマラガかセビージャとなります。いずれの空港からも車で1時間半、AVEで1時間未満です。

① 詳細: www.aena.es

車

スペインの広範な道路網も利用しやすくなっています。マドリードやセビージャ方面には高速道路のA-4が便利。 コルドバとグラナダ間はN-432が通り ます。A-45は、コルドバとマラガをつないでいます。

バス

バスターミナルからは、マドリードやセビージャ、マラガ、グラナダなどの大都市だけでなく、近郊の町に向かう多くの直通バスが定期的に運行されています。

① 詳細:

www.estacionautobusescordoba.es



コルドバは旧市街や主要な記念碑、観 光スポットが比較的近距離にあるため、**歩いて**散策することができます。

また、市街と郊外を結ぶ公共交通機関網も整っています。コルドバを移動するにはバスが便利です。何度も乗り降りをしたい場合は、ボーナスバスカードを利用しましょう。このカードはさまざまな施設で購入・再チャージが可能です。

また、**馬車**に乗って市街地を散策することも可能です。馬車乗り場は、メスキータの横やキリスト教徒の王たちのアルカサル近辺にあります。セグウェイでモニュメントなどの観光エリアに入ることもできます。また、GPSを搭載した**電気自動車**が、レンタカーや街中の駐車場でのカーシェアリングで提供されています。



詳細情報

コルドバ観光案内所 Plaza del Triunfo 14003 – Córdoba (Andalucía) turismo@cordobaturismo.es www.cordobaturismo.es スペイン政府観光局公式サイト

www.spain.info

